

各会派へのアンケート結果に基づく提案

令和 4 年 8 月 9 日
議会改革推進会議
議会 I C T 推進研究会

議会 I C T 推進研究会は、ペーパーレス会議システム「サイドブックス」の運用とビジネスチャットツール「ロゴチャット」の使用について、令和 4 年 5 月から 6 月にかけて各会派宛てにアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の結果を集約した上で研究会として分析し、以下のとおり提案いたします。

1 サイドブックスの運用について

提案①

サイドブックスはペーパーレス会議システムとして使用し、定例会及び臨時会の資料を除き、原則として会議終了後に掲載データを削除する。

- ・ サイドブックスはデータの保存容量が 1,024MB と少ないため、あくまでペーパーレス会議システムとして使用し、データベースとしては使用しない。
- ・ 議員が過去の資料を検索する場合は、飯田市議会ホームページの「会議予定と結果」中、「提出された議案及び審議結果」をデータベースとして活用する。
- ・ 飯田市議会ホームページに掲載がないデータについては、事務局に申し出て CD-R、USB メモリなどの任意の媒体で提供する。
- ・ 飯田市議会の電子データについては、議会事務局のファイルサーバーでバックアップをとっているため、実質的には永年保存となる。
- ・ 飯田市のファイリングシステム上、紙の議案については 30 年、その他の書類は原則として 3 年から 5 年（軽微な案件は 1 年）で廃棄を行うこととなる。

提案②

サイドブックスに搭載する定例会及び臨時会の資料は、前年との比較のため 1 年間（4 定例会及び臨時会）＋1 定例会の保存とし、保存しておきたいデータがある場合は、各議員が個人で使用している P C に保存する。

- ・ (例) 令和 4 年第 3 回定例会開催時のサイドブックスへの搭載データ
＝ 令和 3 年第 3 回～第 4 回定例会、令和 3 年第 4 回臨時会、令和 4 年第 1 回臨時会、令和 4 年第 1 回～第 3 回定例会、
- ・ P C へのデータのダウンロードの方法は、別紙「サイドブックスのデータをダウンロードする方法について」のとおりとする。

2 ログチャットの使用について

提案③

送信するメッセージは短文とし、長文や添付ファイルを送信する必要がある場合は、原則として電子メールを使用する。

- ・ 添付ファイルは電子メールで送信するため、私用 PC からのプリントアウトにより印刷可能な運用とする。

提案④

送信するメッセージの判別を容易にするため、タイトルに【連絡事項】、【会議開催案内】などの概要を記載の上、要件を記載する。

- ・ 事務局からメッセージを送信する際に、タイトルの記載について留意する。

提案⑤

当面の間、事務局から議員への「1 対多数」の連絡の手段として使用し、議員同士の「多数対多数」の議論の手段としては使用しない。

- ・ 「多数対多数の双方向チャットは書き込み量が多く、読みづらくなるので不向きではないか」「簡単なやり取りやお知らせであれば問題ないが議論を深める、相手から考え方を聞き出すなどの場合は向かないのではないか」との意見があり、現時点で「多数対多数」の議論の手段としては、ログチャットを使用しない。

(参考)

飯田市デジタル推進課に確認したところ、LGWAN とインターネットをつなぐ自治体向けビジネスチャットの性質上、私用 PC での使用は想定していないため、ログチャットは現状のスマートフォン及び iPad での使用を継続する。